

## 令和7年度 第3回区政会議議事録

(澤田事業調整担当課長)

・定刻になりましたので、ただいまから令和7年度第3回西区区政会議を開催いたします。私は進行担当いたします、西区役所事業調整担当課長の澤田でございます。よろしくお願いいたします。着座させていただきます。

・それではまず、本日の出席状況でございます。坂本委員、田中委員のお2人の委員から所用により欠席される旨ご連絡をいただいております。また、長谷委員から少し遅れて出席する旨ご連絡をいただいております。なお、まだおつきでない委員もいらっしゃいますが、現在、定数21人の2分の1以上が出席されていることから、本会は成立していることを申し上げます。

・議事に入ります前にお願いがございます。区政会議は公開が原則となっております。議事録作成のため、録音をさせていただきます。また、記録用として、職員がカメラ撮影を行います。

・今回も区政会議の運営にあたりまして、大阪公立大学の皆さんにご協力をいただいております。各テーブルで後程のグループ討議のご意見を発表していただく他、前回に引き続き学生の皆さんも地域活動に係る研究の一環として、皆様の話し合いに参加させていただきますので、ご了承願います。

・その他会議全体の様子を動画撮影し、後日YouTubeにより配信いたします。

動画にお顔を合わせることは抵抗があるという場合などは、動画編集の際に配慮させていただきますので、区役所職員までお知らせ願います。

それでは開会にあたりまして、三村区長からご挨拶申し上げます。

(三村区長)

・皆さんこんばんは。寒い中遅い時間にご参会いただきまして本当にありがとうございます。これから令和7年度 第3回区政会議を開催させていただきますが、今年度最後の区政会議になると同時に、私自身区長任期4年の内の残り2ヶ月ということで、最後の区政会議になります。今日はよろしくお願いいたします。

・本来であればこの4年間の総括的な話ができればよかったのですが、区政の課題は本当に多岐にわたり、かつ数も多いとこういうこともあり、残念ながらそうはいかないのですが。

・本日はこの後の体制にしっかりバトンが渡せるよう、皆様の議論をもとに引き継ぎも固めていきたいというふうに思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

・本日は来年度の予算、それから、事業計画である運営方針、これについてご説明をさせていただきます、加えて地域コミュニティに関するディスカッションをグループ討議で行って

いただきたいと思っております。

・まず予算と運営方針ですが、従来の取り組みに加えて今年度は大阪・関西万博を開催し、大盛況のうち閉幕を迎えました。これから万博が終わった新時代に向かうにあたって、万博のレガシーをしっかりと定着させていく必要があると考えておりました、そのレガシーの定着も次年度の予算に織り込んでおります。

・キーワードとしては、「未来」であったり「世界」であったり、「双方向参画」、「新しいコミュニケーション」といったことになろうかと思えます。

・それぞれの取り組みの中にこういったことが要素として入っておりますので、後程の説明の中でご確認いただければと思えます。

・それからコミュニティの方ですが、私は着任以来この4年間、地域コミュニティが大事だとずっと言ってきました。やはりコミュニティがしっかり機能していることがその町の魅力向上であったり、皆さんの生活がしやすくなると考えています。だからこそ、このコミュニティは本当に大切に育成していかないといけないとずっと訴えてきたのですが、なかなかこれも難しい課題で、コミュニティの中核をなす町会も、依然加入率はなかなか伸びませんし、役員を担う皆さんの高齢化も進んでおり、停滞から抜け出せないという状況にあります。

・こういった状況下、コミュニティそれぞれのステークホルダーが「どういうふうに行動すべきか」、「どうあるべきか」、といったことについて皆様方にご議論いただきたいと思っております。

・本日はこの後大変ありがたいことに送別会をご準備いただいているとお伺いしております。長時間にわたる議論になるかと思いますが、是非よろしく願いいたします。

・それでは大変雑駁ではありますが私からの開会の言葉とさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いいたします。

(澤田事業調整担当課長)

・それでは本日の資料を確認させていただきます。お手元をご覧ください。会議次第に続きまして、資料1のうち、1-2、1-3が令和8年度西区の予算案の関連資料となっております。続きまして資料2、令和8年度西区運営方針案の共通様式。資料番号が入ってないのですが、資料3として、令和8年度西区運営方針具体的取り組み内容。

続きまして、資料4、横書きの資料となりますが、委員事前意見への回答、資料5が地域コミュニティに係るグループ討議資料で、同じ資料にホチキス留めで続くのですが資料6、参考資料ということで地域コミュニティに係るこれまでの討議概要、最後に資料7の大阪公立大学の取り組みに関する資料でございます。全部そろっておりますでしょうか。もし途中で不足に気づくことがありましたら、お近くの区役所職員にもお申し出ください。

・それではここからは川野議長に進行をお願いいたします。

(川野議長)

・本日は前回ご意見をいただきました令和8年度の予算と運営方針について区役所がまとめた案を精査するとともに、その具体的な執行についてご意見を頂戴する場です。その他、事前に区役所から連絡いたしました通りグループ討議について、地域コミュニティの活性化に向けた意見交換も用意して、予定しております。夜間の会議でもあり、午後9時には終了したいと考えておりますので皆様方のご協力よろしくお願いいたします。それでは早速お手元の次第に沿って進めて参ります。

・まずは本日の区政会議の議題に関わる説明です。令和8年度予算概要欄について区役所から説明をお願いします。

(松谷総務課長)

・総務課長の松谷でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

・資料1をご覧ください。資料は4枚つけております。それでは令和8年度の予算算定額につきまして、説明させていただきます。今後市会審議を経て予算確定となるため、状況によっては変更の可能性もございます。

・資料1-1をご覧ください。資料の上段部分ですが、令和8年度の区長自由経費といたしまして、4億5,413万円、令和7年度からの増減として2,093万円となっております。後程説明いたします運営方針に基づきまして、予算も4つの経営課題ごとにまとめておりますので、その説明をさせていただきます。

・左上のから1つ目、「地域コミュニティの活性化」1億594万円についてですが、主なものにつきましては、①の区民祭り、20歳の集いなどに1,085万円。2の地域活動協議会への補助金としまして2,602万円、④ですが来年度は区民センターも区役所のように木質化の整備を行いますので、区民センターの維持管理としまして5,052万円となっております。昨年度比で1,460万円の増となっておりますが、区民センターの増分と万博が終わりましたので、その関連事業経費が減となっておりますので、おおよそその差し引き分でございます。

・次に左下の「安全安心で快適なまちづくり」の、2,825万円についてですが、⑥の災害に強いまちづくりに向けた防災対策としまして、880万円、⑧の地域の見守り活動への支援としまして1,356万円となっております。昨年度比で18万円の減となっております。

・次に右上の「安心して子育てや教育ができる環境づくり」の2,706万円についてですが、⑨といたしまして子育ての環境の充実ですが、子どもの居場所づくりを初めとしました不登校支援や学校支援などに1,425万円、寄付金を活用して新たに実施します西区中学生海外派遣事業としまして511万円を予算して予算措置しております。一方で廃止する事業により、809万円が減となっておりますので、昨年度比で492万円の増となっております。

・最後に右下のニア・イズ・ベターを徹底するための区役所づくりの、2億9,288万円についてですが、⑩の広報誌の発行経費やSNSなどに1701万円、⑫の区役所の管理運営として住民情報窓口の業務委託料などに、1億8,277万円、区役所庁舎維持管理費として

7,515万円となっております、昨年度比で159万円の増となっております。

・めくっていただきまして、資料の1-2です。今説明させていただきました事業の一覧で細かく事業別に予算を書いておりますので、またご確認いただけたらと思います。

・続きまして1-3を、ご覧ください。こちらは来年度西区が重点的に取り組んでいく5事業を記載しております。一番上には、大阪・関西万博による国際的関心の高まりを受けて、区内の公立中学校に在籍する学生を海外に派遣する西区中学生の海外派遣事業を初め、5事業を記載しておりますのでまたご確認いただければと思います。

・最後に4枚目です。こちらの方は昨年度と令和8年度の当初の予算比較です。主な増減要素をわかりやすく表記しておりますので、ご確認いただければと思います。簡単ですが説明は以上であります。よろしく願いいたします。

(川野議長)

・ただいまの説明についてご質問などございますか。よろしいでしょうか。

(委員)

・教育のところで「学校活性化事業費」と「訪問型病児保育事業」が来年度予算が完全にゼロになっていますがその理由を教えてください。

(川野議長)

・西区から回答をお願いします。

(松谷総務課長)

・ご質問は「生徒が考える学校活性化・夢事業」と「訪問型病児保育事業」とについてかと思えます。夢事業につきましては今年度実施しまして生徒の方からいろんな提案をいただき、その目的が単年度で達成したということで、違う「つながる・つなぐ子ども支援事業」ですね、そういうところを拡充するよう予算を充当した、という考えです。

・訪問型病児保育につきましては西区で独自に訪問型病児保育事業をしておりましたが、区内で施設型の病児保育がすでに3ヶ所ございまして、またそれが今後増えていくというような要素もございまして、もともと訪問型病児保育事業を開始した際には、西区に施設型の病児保育も一切なかったときに様々な意見をいただいて訪問型病児保育という形にしたのですが、一定の役目を終えたのかなということで、その分の予算・事業をなくしたという形でございます。

(委員)

・わかりました。

(川野議長)

・他にございませんでしょうか。では次に令和8年度運営方針案について説明願います。

(澤田事業調整担当課長)

・事業調整担当課長、澤田です。18年度運営方針案についてご説明いたします。お時間のご都合もありますので本日は、令和8年度西区運営方針の考え方と、それらを踏まえた具体的な取り組み内容、区政会議委員の皆様からのご意見を反映した取り組み等から幾つか

を抜粋して説明させていただきます。

・最初に資料2、8年度西区運営方針案の共通様式をご覧ください。冒頭に「目標」、「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」という欄がございます。「目標」と「使命」につきましては、令和5年度から令和8年度を対象とする現在の西区将来ビジョンを本に記載しておりますので、変更はございません。

・その下の「令和8年度所属運営の基本的な考え方」でございますが、1点目は上記の使命を実現するための主な取り組みであるため、7年度から変更しておりません。2点目を読み上げます。

・「大阪・関西万博の次のようなレガシーを区政に継承し発展させる。1、未来志向や海外への視点 2、万博をきっかけに新たに紡いだ人との繋がり 3、双方向の広報活動を積極的に活用し、広く区民の区政参画を促すことで、様々な施策のより一層の充実を図る。」

としております。

・令和7年度に大盛況のうちに幕を閉じた国際イベント、大阪・関西万博の成功体験、熱気を今後の区政にレガシーとして定着させること、これが令和8年度西区運営方針の大きな特徴となっております。

・続きまして、これらを踏まえた取り組み及び区政会議委員の皆様からいただいたご意見を反映した取り組みなどのうちから、いくつか抜粋して説明させていただきます。

・資料3、令和8年度西区運営方針具体的取り組み内容をご覧ください。表紙をめくっていただきまして、2ページ目の中ほどになります。取り組み1の(1)の③。万博のレガシーを生かした多様な活動主体のネットワークづくりです。

・一番下の項目になりますが、大阪・関西万博を契機に新たに連携できた区内企業等との繋がりをレガシーとして継承し、それを核にさらに企業、大学、専門学校、NPOとの連携充実拡充を推進して参ります。

・次に3ページ。取り組み1の(2)の①。災害に強いまちづくりについて、3つの項目に青い文字で区政会議委員意見反映と記載しておりますが、一番上の項目について、令和8年度は全区合同での防災訓練は実施いたしません。しかし、各地域で実施する避難所開設運営訓練などを支援することで、地域の災害対応力の強化と、区民・企業の防災意識の向上を促進して参ります。

・続いて7ページ。取り組みの2-(1)-①子育て環境の充実について、ページ中ほどに区政会議委員意見反映と青い文字で記載している項目ですが、「施策内容が十分に周知されていないのではないか」という区政会議、区政会議でのご意見を踏まえまして、インスタグラムを中心としたSNS等を活用し、子育て施策などの情報の積極的な発信に取り組みます。

・続いて8ページ。取り組み2-(1)-②学校教育支援のページの真ん中の項目ですが、「万博を通じて培った海外への視点を発展させるため、未来の社会を担う区内中学生を海

外に派遣し、現地での生活交流、学びをきっかけに、新たな気づきを得るチャンスを提供し、子どもたちの柔軟な思考、主体性、国際感覚の涵養につなげる」ということで、中学生を海外に派遣する事業を実施します。

・最後に9ページ。取り組み3-(1)-①の4つめの項目ですが、万博の盛り上がりが行政と市民、また市民間のSNS等のやりとりによって醸成された側面を踏まえ、SNSを活用した手軽に参加できるアンケート等を実施し、双方向のコミュニケーションを図り、区民が参画する区政を推進ということで、一方通行ではない、情報のやりとりを通して区政への参画を促します。

・雑駁ではございますが、令和8年度西区運営方針案の説明は以上となります。

(川野議長)

・ただいまの説明について、ご質問などございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは報告事項の最後になります。本日の区政会議実施に際して事前に意見、委員から寄せられた意見について区役所から説明願います。

(澤田事業調整担当課長)

・資料4をご覧ください。今回の区政会議、事前にいただきましたご意見、1点だけでしたので、読み上げさせていただきます。質問内容は、令和8年度予算策定案についてでございます。

・ご意見といたしまして、「令和7年度の予算執行状況、1月から3月分はまだ集計できてないとしても、知ることはできないのか。予算が妥当であったのか検証の上で、次年度の予算案について検討に入るべきでは。不足或いは余剰が多額に上るなどした場合、どう処理しているのか。使途は妥当なものか、費目の重なりはないか、見える化して欲しい」というご意見です。

・このご意見に対します、区役所の考え方を説明させていただきます。右側になります。令和7年度の予算執行状況につきましては、現在、日々執行業務を行っているところであり、現時点では未確定のため、公表しておりません。なお、予算の範囲内で適正な執行に努めております。予算の算定にあたっては、区運営方針や予算の執行状況等を踏まえ、限られた財源の中で施策の選択と集中を進めながら必要な予算を算定しております。不足または余剰が生じた際は、予算の範囲内で流用するなどにより対応しております。予算の余剰ができるだけ発生しないよう、随時進捗管理を行い、令和6年度実績では、予算の執行率は約97%となっており、予算を有効に活用しております。使途及び費目については、予算編成から執行段階まで、厳正に精査しながら適正な管理に努めております。なお予算編成過程については大阪市ホームページにて公表しております。事前にいただきましたご意見への回答は以上となります。

(川野議長)

・ただいまの説明についてご質問などございますでしょうか。大丈夫でしょうか。

・それでは続きまして討議を開始したいのですが、議論の進め方について区役所から説明

願います。

(澤田事業調整担当課長)

・今回のグループ討議については、三村区長の任期期間中の最後の区政会議ということで、区長が特に委員の皆様にご議論いただきたい議題の1つとして、西区の地域コミュニティを挙げております。

・グループ分けについては、地域推薦委員、公募委員などの属性が偏らないように、3つのグループ分けを区役所で決めさせていただきましたので、ご了承願います。

・討議の流れですが、まずは区政の各経営課題の予算と運営方針の策定について議論をしていただきます。議題としては、予算運営方針と別々に記載しておりますが、この2つはそれぞれ関連し合いますので、グループ討議の中では2つ合わせてご議論をお願いしたいと考えております。続きまして地域コミュニティの活性化に向けてということで、意見を交換していただければと思います。

・同じようで一斉に議論を始めると、どうしても周囲の声が気にかかると思われるので、お手数ですが、Bグループは別の会議室に移動していただき、グループ討議終了後にこちらにお戻りいただきます。区役所職員がご案内いたしますので、Bグループの皆様は、ご協力をお願いいたします。

・グループ討議は各テーブルの西区役所の職員が司会進行をさせていただきます。討議時間は8時15分ごろまでの50分程度を予定しております。そのうち、最後の5分間は各テーブルにおいてリスクアクションの職員が討議の全体的なご意見内容等を確認させていただきます。その後、大阪公立大学の皆様から各テーブルでのご意見内容発表をしていただきます。

(川野議長)

グループ討議の進行方法について、何か疑問点等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。それではグループ討議始めてくださいよろしく申し上げます。8時20分頃に会議を再開いたします。

#### －グループ討議－

(川野議長)

・皆さんお揃いになりました。今日は「地域コミュニティ」というテーマで活発にご意見を頂戴しました。まずグループごとにご意見をお聞かせいただきたいと思います。

・まずはAグループからお願いします。

(Aグループ発表：大阪公立大生)

・Aグループは地縁団体の役割について、町会の活動についての討議がありました。

・町会の活動を行っている人が固定化していることと高齢化していることで、地域活動を継続していく上で若い人や新しい人を確保する必要があるという意見があるものの、現状、これまでに長く活動を行ってきた人が大半であるため、活動の仕方が従来のままになっていて、それを若い人たちが見たときに、少々入りづらくなっているのでは、との意見が出ました。

・一方で活動自体はボランティアによるものであり、急にその内容を変えることは難しいという意見もあり、どうどうめぐりの議論となりました。

・また、イベントに遊びに来る人は多くても、運営側には回りづらいという意見が出ていました。

・解決案としては、新しい視点や人を排除せずに耳を傾ける姿勢を、地域団体のトップ層の方はもちろんですが、そこに参加している方に持っていただくということが第1の案として挙げられました。

・次に、気軽に参加できることの重要性という点が上がりました。例えば、一部の活動に参加するだけの人を快く受け入れる姿勢や、掃除などの小さなことからコミュニケーションをとれるような場所が必要であるという意見が出ました。

・また世代間の交流についてはお祭りなどを活用して進めるといった解決方法が提起されました。一方で高齢者の中へ参加しにくい子育て世帯などの若い人が主体で運営する活動の場を設ける、などといった形の解決もできるのではとの意見が出されました。

・最後に、地縁団体だけでは解決できない問題に当たったときに、その地域で活動するその他の活動主体と繋がっていくことの重要性が挙げられました。

・順番が前後して申し訳ないのですが、最初の予算案、子どもの居場所の予算について、就学後児童が気軽に集える場所がなく、乳幼児や不登校に対する支援は多いのにもかかわらず、普通に小学校に通っている子が集まれる場所がないということが問題に上がっていました。グループ討議は以上になります。

(川野議長)

区役所から補足などございますか。

(永井保健福祉課長)

・グループ保健福祉課長の永井です。綺麗にまとめていただきましたありがとうございます。

・地縁団体の抱える課題と今後なすべきことというテーマの中で、気持ちの面で町会に入っていくのにアウェー感を感じてしまうというような意見がありました。受入れる側も活動の間の井戸端会議などで排他的な話をしてしまうこともあるかもしれない、といった入る側と受け入れる側の気持ちズレのようなことも、意見の中で出たのではと思いますので、その点だけ付け加えさせていただきます。

(川野議長)

・ありがとうございます。次にBグループからお願いします。

(B グループ発表：大阪公立大生)

- ・まずは予算と運営方針について話し合われた結果について発表します。
- ・まず情報の発信という点に関して、区役所が行ってはいらぬもののそれが西区に住んでいる住民の方々に浸透しているのか、という課題があるのではないかという意見が出ました。
- ・さらに訪問型病児保育事業の予算が無くなったことに関して、病児保育へのニーズは増えているのに訪問型病児保育を減らしてよいのか、という意見が出ました。この意見に関しては、訪問型病児保育の利用人数が減少していること、利用者の9割が未就学児であり、西区全体で出生率が減少しているということ、また西区で施設型の病児保育施設が3つあることから、この訪問型病児保育の予算を計上しなかった、との説明がなされました。
- ・Bグループは地域コミュニティ活性化のために区役所がどうあるべきかという視点から議論をしたのですが、どうあるべきかという具体的な案までは議論が進まず、現状の話が中心になってしまいました。
- ・例えば町会に入ったときに、自分がどのように活躍できるのかがイメージしにくい点、これは堀江の事例が挙げられていたのですが、そのイメージをつけられるように何か区役所としてサポートできる部分があったらいいのではないか、という意見がでました。また、女性会の方がイベントの縁の下のような存在になっているので、女性会への加入も後押しするような何かサポートがあればいいのでは、との意見もありました。
- ・町会をやめた人の意見もありました。やめた理由として、町会に入っているメリットがないと感じるところは、区役所がどうにかできる問題ではないのでは、と個人的には感じますが、手続きの面倒くさき等も懸念点としては大きいのでは、という意見もあり、オンラインで手続きできるようにするとか、キャッシュレスで町会費を払えるようにするといったところを区役所が全面的にサポートしていけばいいのでは、との議論になりました。
- ・全体的には、何か区民が（地域にかかり）行動を起こしたいと思ったときに、やり方がわからないといった状況にならないように、その方法をレクチャーしていくという方向性が大事なのではないか、という議論になりました。以上です。

(川野議長)

- ・区役所の方から、補足説明などありましたらお願いします。

(吉岡子育て支援担当課長)

- ・失礼します。子育て支援担当課長の吉岡です。いつものことながら上手にまとめていただいてありがとうございます。
- ・私の方から補足といいますか、区役所の職員として感じたこととして、やはり若い世代を中心に町会に入るメリットがなかなかわかりにくいと。何をしているのか、どんな活動

しているのかわからない、というような意見が多いように感じました。

・ですのでやはりそのあたりは運営方針にも記載しておりますが、情報発信についてアナログ、紙ベースでの情報提供というものがやはり必要じゃないか、というご意見も頂戴しました。一方で若い人中心に、紙ベースの情報を見ないというお声も頂戴しているようなこともあります。それぞれの世代に向けて、どんな情報発信の方法が最適かということを考えていく必要があるんじゃないかという結論になりました。本日具体的に役所がどこまで何をするのかというところまでは議論できなかったのですが、いただいて意見を頂戴して、そういうところを区役所職員としては感じた次第です。以上でございます。

(川野議長)

・次にCグループからお願いします。

(Cグループ発表：大阪公立大生)

・Cグループは地縁団体とは違う地域活動主体、企業・専門学校等の果たすべき役割について議論しました。

・まず現在の地域活動に対する現状認識と感じている課題点についてお話しします。

課題の1つ目としては、当該の地域に立地していたり、近接の企業さんだと出会うきっかけがあるのですが、それを越えた繋がりが無いので、出会うきっかけや繋がるためにどうすべきか、ということが課題として挙げられました。

・2つ目としては、担い手をどう見つけていくかということです。現状だと平均年齢が高く担い手が減っています。特に30代から40代であったり、子育て世帯の参加者がいないので、新しい担い手をどう見つけていくかということが課題として挙げられました。

・繋がりをどう作るかについて、課題認識を踏まえた上での取り組みとしてはまず、企業同志や地域団体同志、そして企業と地域団体間でも、繋がりが繋がって新たなネットワークができるような、マッチングできるような仕組みを作って一緒に課題解決、取り組みをしていけるような制度や仕組みが必要なのではないか、という意見が出ました。

・担い手の取り組みに関しては、30代40代の子育て世代が活動に参加しにくいという現状があります。共働きの世帯を例にすると、何か取り組みたいと思ってもいろんな制限が働きなかなか取り組めないという現状があるので、区政会議であったりイベントや会議などに子どもを連れてきてもいいとか、ご飯を食べさせながら参加してもいいとか、そういうふうな仕組みにしていくことで、だんだん参加する人が増えて担い手が増えていくのではないかという意見が出ました。

・あと、町会の活動や防災訓練の活動をもっと多くの人に知らせるべきということで、小学校で子どもや保護者向けの手紙を配ることで、そういったイベントの存在を知らせることも、幅広い周知に繋がっていくのではないか、という意見がありました。以上です。

(川野議長)

・では区役所から補足の説明ありましたらお願いします。

(川楠教育担当課長)

・教育担当課長の川楠です。公立大学の岡さん、木曾さん、広川さんにしっかりまとめていただいたのでほぼ言うことはないのですが。

・繰り返しになるかもしれませんが、繋がろうと思っても繋がる、一歩目を踏み出すのが難しいということは、キーワードといいますか象徴的な意見なのかなと思いました。

・地域の担い手不足という点に関しては、今やっておられる方々が1人で何役も、いろんな団体の役もされているということで、もう日々の活動が普通に大変ということもあり、外のどんな担い手がいるのか、そこに目を向ける余裕がないというようなこともお話にあがっていました。

・企業、医療関係、福祉関係と地域の方々と、そういったネットワークを作って一緒に西区の課題解決をしていこうというような取り組みをしている方もいらっしゃいました。そういう活動をしていても、課題解決にあたってどこに何を言っていたらいいのかわからないというようなこともあるようで、それ自体が課題なのかなというふうにも思いました。

・ネットワークを作るといっても、ネットワークをつなげていくようなコーディネートする役割ができる方がいるということがまず重要なのかなというようにも話にできました。以上でございます。

・(川野議長)

・はい、ありがとうございます。他非常にたくさんのご意見をいただきました。ただいまの各グループからの発表、または本日の会議を通じてご質問、ご意見などあればここでお伺いしたいと思いますがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

・では本日のグループ討議を中心に整理してまいります。いろいろテーブル回って聞いていたのですが、やはり担い手の問題がいろんなところから出ていたな、というふうに思います。

・メンバーが固定化、高齢化され、最後にもありましたが1人の方にかなりいろんな負担がかかっているという問題などがあると。そういった状況下、若い世代、子育て世代にどうやって参画してもらおうのかということ、これはこれまでもよく話題になっていたことだと思いますが、もう一方で、じゃあどうやって入るのかっていうと、入りにくいっていう問題というのがある、ということですよ。

・昔から地域活動をしている人たちには「やり方」というものがあって、新しい人たちにとっては入りにくい。長い間、そこでボランティアやってきた人たちは、なかなかそういう「やり方」を変えられないところが問題点では、ということがいろんな議論で同じように共通で出てきているのかな、というふうに思いました。

・それから、やはり興味深いなと思いましたのが、世代間の交流が一方で非常に必要だと認識されていることです。若い方たち自身が主体的にいろいろなイベントを企画できるようなことをしたらいいのではという意見、組織のネットワークの作り方として、非常に大きな課題なのでは、というふうにも思いながら聞かせていただきました。

・他には地域で活動する、数、団体いろいろなネットワークの問題ですね、そういったことも共通して出てきたのではないかなと思います。地域の団体だけでなく外の団体、いろいろなネットワークを作っていくなどですね。

・それから「区役所がすべきこと」に関して申しあげますと、やはり先ほどの発表でもありましたが、手続きの問題、入り方、オンライン、キャッシュレスなどの支払いの問題についてサポートして入り易くするということですか、いろいろな世代に向けての情報発信ですね、やはりここでも世代間の繋がりがキーになっているのではないかなと改めて思いました。

・それから最後にネットワークの問題ですね。ネットワークをどういうふうに作り上げていくのか、それも間に入ることによって、そういった繋いでいく役割という非常に重要な役割を区役所は果たせるのではないかな、というふうに私も聞きながら思いました。ですので、やはり「繋がり」、「担い手」ということがキーなのかな、というふうには今回の話を聞いて改めて思ったところです。

・今日、様々な議論がありました、区役所は改めていただいた意見を踏まえて対応を考えていただければというふうに思います。

・最後に私の方から区政会議とは離れるのですが、最後の資料をについて少しお時間いただければと思います。最後の資料の7の2枚目を見ていただきますと「にしボイス」と記載がありますが、公立大でオンラインのプラットフォームを作っています。

・もともとこの「にしボイス」のきっかけになったのは、私たち公立大が区政会議に参加させていただいて年に3回、こういう形で顔を見せている様々なテーマで議論し区の課題について議論するような機会があるわけですが、なかなか実際年3回の対面だけでは難しいということもありまして、何かこう、ネット上で意見ができ、いろいろ皆さんの意見が伝わるような、そういうようなものがつくれないかなというふうに思いまして、こういうものを作りました。

・「西ボイス」というもので、これも前回会議でお話させていただきまして、区政会議の現在のメンバー、以前のメンバーの有志の方に参加していただきまして、いろいろな西区での課題について議論するようなプラットフォームも電子上で作るというような企画をしています。

・そこで区役所と区政会議の一部の有志のメンバーの方に意見いただきまして、今回は「子育て」・「不登校」というテーマで質問をさせていただいています。プラットフォームで西区の皆さんに参加していただいて自由にご議論をいただく掲示板みたいな感じなのですが。

・実はまだ最終分としては完成していませんが、2月1日から開始する予定です。このQRコード読み取っていただけましたら今ホームページの閲覧はできますので、是非登録していただければと思います。

・今回は「子育て」、「不登校」というテーマにしているのですが、他にも今日のように「地域コミュニティ」ですとか、いろんなテーマがあります。来年度以降も続けていきたいと思いますので、皆さんからも是非こういったテーマについて議論したらというご意見いただければと思っています。まずは登録だけでも結構ですのでよろしくお願いします。

・それから、3月9日に大阪公立大学の森之宮キャンパスで、今のことも含めてですね、シンポジウムを行う予定です。今私達が作っているオンラインのプラットフォームは、要するに電子上の掲示板みたいな感じのものです。実を言うと同様のものを大阪府でもスマートシティー関係として現在やっているものがあります。今回、大阪市では西区が初めての取り組みなのですが、その一環として大阪市西区で今回2月から始まるプラットフォームでのご意見をまとめて、その結果についてご議論いただくということで、三村区長と区民に参加いただきまして、西区の課題について議論していけたらなというふうに思います。3月9日夜ですが、お時間ありましたら是非ご参加いただければと思います。私からは以上です。ありがとうございます。よろしくお願いします。

(澤田事業調整担当課長)

・川野議長、議事進行ありがとうございました。本日は活発な意見交換と、議事進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。それでは時間が参ってございますので、最後に三村区長からご挨拶申し上げます。

(三村区長)

・本日は活発にご議論いただきまして本当にありがとうございました。地域コミュニティという身近な話題でもあり、各グループでの議論が非常に盛り上がっていたというふうに思いました。全部はお伺いできなかったのですが、やはりなにか「腹に落ちる」というか、なるほどというご意見も多数いただきました。是非区政に反映していきたいと思います。

・そこで少し私の考えをお話させてもらいたいのですが、地域コミュニティの課題として、「人がいない」だとか「高齢化」だとか、こういう話が出ているのですが、マクロで見ますと西区の人口は増加しており、他の地域と比べると高齢化比率も圧倒的に低いという状況です。ということで、人はいないわけでもなく、高齢化が進んでいるわけでもないと、西区はそういう町なのですね。

・これはもうハード面ではなくソフト面の課題かなと私は思います。やはり意識であったり行動であったり、その先にある定着といいますか、そういうまちだと思いました。

・議論を聞いていて面白いなと思ったのは、野田委員が「僕はよそ者だ」と言っていました。

たが、野田さんは50年ぐらい住んでいるのにまだよそ者だと言わせてしまう。こういう地域のありようって一体どうなのだろう、というふうには思いました。

・信達委員が「課題が何かわからないから、区役所の職員が来て話してほしい」といった話をされていて、繋がっていない人たちっていうのは、「現状がわからないから何かやりたくても何をしたらいいのかわからない」、「何かやろうとすると邪魔になるかもしれない」と、こういうところからなかなか踏み出せないということもあるのだろうなというふうにお伺いしました。

・また区役所については「いろんなことをサポートしてほしい」、「こうやってほしい」といったお話もしっかりお伺いして、やはり何かお手伝いをできるようなことをしっかりしていけないといけないというふうに思いました。

・ただ「区役所が何をお手伝いしていくのか」ということはやはり私は、だんだん変わっていかないといけないと思っています。例えば現在、区役所のインスタグラムで地域活動の楽しさだとか活発さだとか、「こういう人たちもいます」、「こういう活動をしています」といった情報を注力して発信しています。行政情報の発信に加えて日常の活動、「こんなやってますよ」、「こんなでみんな作って楽しんでいます」といった発信が出てくるようになってくると、より発信力が上がってくるのではと思います。ですので、そういうことをサポートしていくべきと思っています。

・「課題点を町会長に伝えてほしい」というご意見もあって、これも区役所の大事な役割なのでは、というふうに思います。やはり人生の大先輩の方々がやってこられた中で、なかなか言えなかったり、「昔からこれでやってきた」みたいな、そういうことについては、区長の私や区役所の課長以上のマネジメントとしてしっかりお伝えすべきだろうなというふうに思います。

・ただこれを進めるにあたっては、やはり人間関係がある中でやっていかないと、「何を杓子定規なこと言ってんねん」ということで聞いてもらえないことになると思うので、普段から接点を持っていろんなことを話し合っただけで情報交換し、そういったことができた上で町会長とか連長さんに対してこういう話をして変わっていってもらう、連長が変わればだんだん下も変わっていく可能性もあるので、そういった動き方をすべきと思っています。

・あとは、やはり情報発信が重要です。これも谷井さんがおっしゃっていたのですが、「マンションコミュニティでお金使っていますがこれ一体何に使っているのですか」と。このマンションコミュニティの予算をもう何年も計上しています。每期300棟から400棟ぐらいある区内のマンションの管理人に、毎年DMを送っているのですね。その内返信は50通ぐらいです。1割ぐらいしか返ってこないのですが、その50のマンションに行って、「区役所ではこういう活動やっていますが、何かやりたいことありませんか」と。防災や子育て、ときにはフレイルといった高齢者を対象としたものです。まずはマンションのニーズに応えようと、そういう動き方をするのですが、その中で「町会と繋がってみませんか」とか「今町会ではこんな活動やっています」、といったことを地道にずっとやってきた

のですが、それが伝わっていないということも課題なのでは、と思いました。

・こういったことも、やはり伝えることによって知ってもらい、それが理解に繋がって「我々と一緒に動いていきましょう」と、そういうふうに繋がればというふうに思います。とにかく、コミュニティ醸成については、ソフト面の課題解決で良くなるのではないかというのが私の考えです。なので、みんなで話し合っただけ情報交換し、意見を言い合っただけで進んでいくものだろうと思っています。私の任期は残りわずかですが、あとは副区長に託して、皆さんに是非頑張ってもらいたいというふうに思います。

・私がずっとやりたかった事業があって、それが中学生の海外派遣事業です。これについて少しお話をさせてもらいたいと思います。「中学生の海外派遣事業」、これは本当に区長になってからずっと温めてきた事業です。内容は区内の中学校、今3校あるんですがそこから希望者を中心に各校3名を絞り込んで、ここはちょっと競争があるのですが、それは競争を勝ち取って欲しいなというふうに思っています。

・その中学生9人を、海外に1週間のホームステイ、できるだけ自己負担がない形で行ってもらおうと思っています。ですから誰でも手を上げられるような、そういう状態にしたいと思っています。海外に行って、現地の子どもたちと交流をして、またいろんな視察をして、それに加えて海外に進出している日本企業に職場体験にも行かせてもらって駐在員と直接話をしてもらおうと考えています。これも万博を契機にしているので、万博が夢洲で見せてくれた未来、それから世界、これを西区の未来を背負う子どもたちに直接感じさせたい。あわせて、子どもたちにとって非連続的な飛躍的な成長に繋がるような、そんな取り組みになったらいいなというふうに思っています。子どもたちが何かをきっかけに俄然やる気を出して飛躍的に成長する、これが子どもの可能性だと思うので、その可能性に気づくような、そんな事業にしたいと思っています。

・なぜ中学生なのかというところですが、これも少しこだわりがありまして、岩手県の奥州市は皆さんご存じですか。岩手県で言うと盛岡の次に人口の多いまちです。その町の方々に、自分の町の誇り、プライドは何ですかと質問したところ、東北地方なので自然があって料理があって歴史があって、とそういう答えが返ってくるかと思ったらある1人の方の名前が出てきますと、その町の市役所を見るとその方の経歴がずらっと出て、図書館にはもうタタミ何畳分の年表が置いてあると、こういう町なのですね。

・誰かっていうと、大谷翔平なのです。要は、大谷翔平という個人がまちの誇りになっている、プライドになっているということです。

・我々も大谷翔平の生まれ故郷となると、何となくすごいなとなるかと思うのですが、それが大谷翔平だ、もうまさに人がまちの宝だと。ですので西区の子どもたちにそういうチャンスをあげて、そういう可能性が生まれるような、そんなきっかけを作ってあげたいと。

・西区から大谷翔平まで行くかどうかはわかりませんが、あと10年、20年後にこういう人が出てきて西区のプライド、誇りになっていく、こういうことの種まきをしたいと思

っての事業です。今回予算 500 万円ですが、なかなか公金を使うにあたって公平性、平等性の観点から 1 人何十万も使うとなるのでなかなか難しいという話を区内の企業の経営者の方々にしましたら、その経営者の方々も「それはいい事業だ、西区の将来に繋がるはずだ」、と応援のご寄附をいただいて、この事業ができるようになりました。

・ただこれも継続していかないといけませんので、双方の企業の経営者の皆さんにお願いをして、定期的に応援をいただけるということになっています。

・本当に探せば、出会いがあれば区政を応援してくれる人たちがこんなにたくさんいるのだと。しかも、熱い思いを持って、私がずっとやりたいとこだわってきた事業を応援してくれると、本当ありがたいなというふうに思います。こんな素敵な事業は他に比べようがないというふうに思っています。

・少し残念なのですが、もう子どもを海外に行かせるときには私はどこか違う区に赴任しているので見ることはできないのですが、行った子どもたちが本当にいろいろな気づき学びを終えて帰ってきてくれたら非常に嬉しいなと思っています。

・最後ですが、本当に区政会議、今年度も 3 回本当にありがとうございました。私、1 年目から区政会議のメンバーの皆さんがおっしゃることは一つ一つ、ワードで捉えることが多かったのですが、そのワードの意味が「どういうことなのかな」とか、「区政に反映させようとするとういうふうに見えるのかな」ということを一生懸命考えて、区政会議に臨んで皆さんの意見を参考にさせてもらってきました。本当にいろいろ反映してきたつもりではあるのですが、まだ少し足りないところもあったかもしれません。ただ、皆様方のご意見は本当に参考になりましたし、協力してくれるその姿勢にも心から感謝をしております。

・まだ任期は終わってはいないのですが、区政会議も今回で終わりなので申し上げますが、西区がこれからまだまださらによくなってもらいたい、またそうできるだけのパテンシャルもありますし、皆様方の力を持っていい方向に進めていただければもっともったいいい区になっていくと思うので、これからもまた区政へのかかわり合い、区役所へのご協力、ご支援を引き続きよろしくお願ひしたいと思います。今日は長時間、本当にありがとうございました。

(澤田事業調整担当課長)

・長時間にわたりご意見を賜り、ありがとうございました。本日の会議の内容は、西区のホームページで 5 月、後日公開いたしますのでご了解願ひます。次回の日程は、令和 8 年 6 月ごろを考えてございます。来年度は新たに西区将来ビジョンを策定するため、区政会議委員の皆様にも、一層の活発なご議論をお願ひしたいと考えております。なるべく早い時期にメール等でお知らせいたしますので、ご協力よろしくお願ひいたします。

・その他、次回以降のグループ討議の進め方などについて、委員の皆様アンケートをさせていただきますと考えております。明日にでもメールをお送りいたしますのでこちらも

ご協力をお願いいたします。

・これをもちましては7年度第3回西区区政会議を終了いたします。ありがとうございました。